

概要版

# しまね循環型社会の現状報告

(しまね循環型社会推進計画進捗状況調査報告書)

平成16年9月

島 根 県

## 1. 数値目標に関する進捗状況

### ① 排出量

#### 【目標】

- ・一般廃棄物：H11の排出量に対し、平成17年度の排出量を3%削減する。
- ・産業廃棄物：H11の排出量に対し、平成17年度の排出量を6%増に抑制する。

※産業廃棄物は農業を除く。

#### 【進捗状況】

	実績（産業廃棄物は推計値）					目標
	H11	H12	H13	H14	H15	H17
一般廃棄物	258千t 【100】	266千t 【103.1】	275千t 【106.6】	271千t 【105.0】	—	249千t 【97】
産業廃棄物 【農業を除く】	1,622千t 【100】	1,591千t 【98.1】	1,725千t 【106.4】	1,626千t 【100.2】	1,766千t 【108.9】	1,727千t 【106】

#### 【今後の見通し】

一般廃棄物	一般廃棄物の排出量は年々増加傾向にあることから、これまでの取組に加え、県民1人1人があらためて現在のライフスタイルを見直し、発生抑制に積極的に取り組まなければ、平成17年度の目標値を達成することは困難と考えられる。
産業廃棄物	景気の回復などによる排出量の増加は考えられるものの、環境保全に積極的に取り組んでいない企業は、社会的に認知されにくくなっていることを考慮すると、排出事業者における発生抑制に向けた取組は、今後とも積極的に進められることから、平成17年度の目標値を達成することはおおむね可能と考えられる。

### ② 再生利用率

#### 【目標】

- ・一般廃棄物：H17の再生利用率を、20%とする。
- ・産業廃棄物（農業を除く）：H17の再生利用率を、57%とする。
- ・産業廃棄物（農業）：H17の再生利用率を、97%とする。

#### 【進捗状況】

	実績（産業廃棄物は推計値）					目標
	H11	H12	H13	H14	H15	H17
一般廃棄物	14% 【38千t】	16.9% 【45千t】	16.7% 【46千t】	17.3% 【47千t】	—	20% 【51千t】
産業廃棄物 【農業を除く】	53% 【874千t】	63.2% 【1,005千t】	61.0% 【1,052千t】	60.3% 【981千t】	57.0% 【1,006千t】	57% 【990千t】
産業廃棄物 【農業】	70% 【367千t】	75.3% 【499千t】	80.5% 【545千t】	85.8% 【570千t】	91.0% 【617千t】	97% 【587千t】

#### 【今後の見通し】

一般廃棄物	リサイクルプラザ等の施設整備に伴い、平成15年度の再生利用量は、おおむね49千t程度にまで増加していると推測される。引き続き、目標値設定時に想定していた取組を着実に実施していくことにより、平成17年度の目標値を達成することはおおむね可能と考えられる。
産業廃棄物	事業者における取組に加え、業界単位で廃棄物の再生利用に対する取組が進んでおり、リサイクルなど環境保全に積極的に取り組んでいない企業は、社会的に認知されにくくなっていることを考慮すると、今後とも、再生利用率は増加すると考えられる。このため、平成17年度の目標値を達成することは可能と考えられる。

### ③最終処分量

#### 【目標】

- ・一般廃棄物：H11 の最終処分量に対し、平成 17 年度最終処分量を 20%削減する。
- ・産業廃棄物：H11 の最終処分量に対し、平成 17 年度最終処分量を 46%削減する。  
※産業廃棄物は農業を除く。

#### 【進捗状況】

	実績（産業廃棄物は推計値）					目標
	H11	H12	H13	H14	H15	H17
一般廃棄物	55 千 t 【100】	58 千 t 【105.5】	51 千 t 【92.7】	49 千 t 【89.1】	—	44 千 t 【80】
産業廃棄物 【農業を除く】	281 千 t 【100】	102 千 t 【36.3】	167 千 t 【59.4】	172 千 t 【61.2】	276 千 t 【98.2】	153 千 t 【54】

#### 【今後の見通し】

一般廃棄物	リサイクルプラザ等の施設整備により、平成 15 年度最終処分量は、おおむね 47.5 千 t 程度にまで減少する見込みとなっており、引き続き、目標設定時に想定していた取組を着実に実施していくことにより、平成 17 年度の目標値（44 千 t）を達成することはおおむね可能と考えられる。
産業廃棄物	多量排出事業者である中国電力三隅火力発電所の動向により、島根県全体の産業廃棄物の最終処分量が大きく増加している年はあるが、事業者全体における発生抑制、再生利用の取組はおおむね順調に進捗しており、今後とも、リサイクル技術の開発や、島根県内におけるリサイクル製品の利用先の確保などにさらに力を注ぐことにより、平成 17 年度の目標値を達成することは可能と考えられる。

## 2. 行動計画に関する進捗状況

### ① 県民の取組

- ・ 県民全てがしまね循環型社会に関心を持つ。
- ・ 環境への負荷ができる限り低減されたライフスタイルを実践する。
- ・ しまね循環型社会の形成に向けた積極的な取組を行う。

#### 【進捗状況及び今後の見通し】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民を対象としたアンケート調査では、しまね循環型社会に関心を持っている者は全体の約 93%を占めていた。</li> <li>・ 一方、3R（スリーアール）という言葉の認知度は約 41%と幾分低かったものの、Reduce（リデュース：ごみを減らす）は 75%、Reuse（リユース：くり返し使う）は 57%及び Recycle（リサイクル：再び資源として利用する）は 73%の者が取組を行っていた。</li> <li>・ また、3Rに対する今後の実践意欲については約 85%の者が「行う」と回答していた。</li> <li>・ 以上のことから、今後とも、「しまね循環型社会」の形成に向けた県民の積極的な取組が期待できると考えられる。</li> </ul>
---

## ② 事業者の取組

- ・ 拡大生産者責任(EPR)の原則に基づく高い企業モラルを持つ。
- ・ 環境に配慮した事業活動を行う。
- ・ しまね循環型社会に必要な新たな環境関連産業を創造する。

### 【進捗状況及び今後の見通し】

- ・ 事業者（松江商工会議所会員及び多量排出事業者）を対象とした実態調査では、リデュースに関する「環境会計の活用状況」や「ISO14001の認証取得状況」への取組は低かったものの、3Rに関するその他の項目については、「行っている、促進している」といった積極的に取り組んでいると判断される回答が大半を占めていた。
- ・ 環境関連産業に対する関心度も高い（約9割）ことがうかがえた。
- ・ 以上のことから、今後とも事業者の積極的な取組が期待できると考えられる。

## ③ 市町村の取組

- ・ しまね循環型社会形成の姿と目標を広く住民・事業者に周知する。
- ・ 住民・事業者の取組を積極的に支援する。
- ・ 自らが率先してしまね循環型社会実現に向けた取組を行う。
- ・ 適正処理を促進する。

### 【進捗状況及び今後の見通し】

- ・ 市町村の取組については、住民や事業者に対して行う啓発や支援事業及びごみ袋有料化の実施状況が比較的高い取組状況となっていた。
- ・ 一方で、「住民、事業者及び行政が連携し、一体となって取り組むための情報交換や提案等を行うための体制づくり」や「一般廃棄物を多量に排出する事業者に対する指導状況」等、取組状況が30%を下回る項目も複数みられた。
- ・ 以上のことから、市町村においては、今後、着手していない施策への積極的な取組が必要と考えられる。

## ④ 島根県の取組

- ・ 県民及び事業者の主体的取組を促進する。
- ・ しまね循環型システムの形成を促進する。
- ・ 県民・事業者・行政のパートナーシップを構築する。
- ・ 自らが率先する循環型社会実現のための実践事業を行う。
- ・ 適正処理を推進する。

### 【進捗状況及び今後の見通し】

島根県の取組状況は以下に示すとおり、おおむね実施しており、今後についても、数値目標の円滑な達成に向け、より一層、取組の強化・補充を行っていくものとする。

- ・ 県民及び事業者の主体的取組の促進（施策の実施率：91%）
- ・ しまね循環型システムの形成の促進（施策の実施率：100%）
- ・ 県民・事業者・行政のパートナーシップの構築（施策の実施率：50%）
- ・ 自らが率先するしまね循環型社会実現のための実践事業（施策の実施率：100%）
- ・ 適正処理の推進（施策の実施率：100%）

